

地域発展室方針

室 長 山田 時代

高田開府400年、上越市広域合併から10年、そして念願だった北陸新幹線の開業。めまぐるしい環境の変化の中、先人たちが歩みを止めることなく幾多の困難を乗り越えて私たちが住む伝統ある「上越」が形成されてきました。上越JCにとっても50年という大きな節目を迎えた今、先輩より受け継がれたまちづくりに対する熱き想いを胸に、より良い未来の実現に向けた運動を展開し「魅力あふれるまち」を創造しなければなりません。

未来を描くにあたり重要なことは、過去の成果と現在の状況を正しく把握し、夢を語れるかということです。この春、上越の歴史に大きな1ページが刻まれます。夢と希望を運ぶ北陸新幹線をいかに有益に活用するか、それはこれからの地域の発展に直接的にかかわる大きな問題です。上越市の玄関口として新幹線駅の活用、さらに新幹線駅にふさわしいまちづくり、あわせて地元住民の足である並行在来線の活用も考えた「魅力あふれるまち」の形成に主体的に向き合います。そして中長期的な地域の発展のために、目に見える明確な理念をメンバーと共有し、上越JCの確かなる方向性を確立します。上越JCの設立当初から先輩方は数々の大きな夢や宣言を発表してきました。築かれた数々の功績をふまえ、51年目だからできるこの機会に次なる指針を描き、メンバー一丸となって新たな半世紀への挑戦に力強く踏み出す必要があります。そのためには、中長期的な視点をとらえ、一過性で終わらせない持続可能な運動を意識することが必要です。市民の方々と共にまちを創っていくという気概のもと、51年目にふさわしい確かな一歩を築いてまいります。

“未来への夢”を提言・実践・発信していくことは、地域の発展につながり「魅力あふれるまち」を創造します。そしてこれらの運動が上越JCの枠を超えて上越市民を動かし持続可能な運動として定着させることによって、交流人口の増加につながると確信します。

【運営方針】

- 1.新幹線も視野に含め市民とともに地域の発展を創出する事業を行います。
- 2.上越JCにおける中長期的な運動指針を明確にする事業を行います。
- 3.「室」内のつながりはもとより、LOMを超えた関係構築にも積極的に取り組みます。